This and That at MISHOP

MISHOP News from all activities.

みんなの活動だより

こうほう ぶ かい 発行: MISHOP広報部会 ^{2023.4} **76**

3年ぶりの国際交流スキーツアー

The International Ski Tour 2023

「国際交流スキーツアー 2023」 が3月11日(土)~12日(日)の1泊2日、長野県佐久が2000年 <math>2023」 2023

しゅくはく なら から たか し こうがいがく しゅう し せつ かわかみごう しぜん むら ゆうしょく ご こうりゅうかい ひら 宿泊したのは三鷹市校外学 習施設の川上郷自然の村。夕食後は交流会を開き、ゲームやクイズで盛り上がりました。

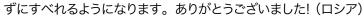
The International Ski Tour 2023 was held from March 11th (Sat) to12th (Sun) at a ski resort in Kawakami Village, Nagano Prefecture. This was the first ski tour after three years, and 25 people, including 11 foreign citizens, enjoyed the silver snow after this long break.

【感想シートから】 Comments from the impression seat

外国籍市民 foreigner participants(原文のまま)

●Thanks MISHOP for the warm and friendly ski tour. I was taught how to ski. I was fun and with the great care of MISHOP's members. I learnt skiing without any injuries. I don't have any opinions, you did a great job. Thank you. (ベトナム)

- ●今週末はとても楽しかったです。いつもお世話になっていて、ありがとうございます! 次のスキーツァーが楽しみです。ぜひ行きたいです。 (メキシコ)
- ●とても楽しかったです! 全員をグループに分ける のは良いかんがえでした。初心者はすぐにじょう





日本人ボランティア Japanese volunteer

- ●今回は楽しい企画に参加させていただきまして、どうもありがとうございました。 久しぶりのスキーでしたがケガもなく、後半は存分に滑れて楽しかったです。 ありがとうございました。



●素敵なツアーをありがとうございました。ボランティアとして参加しましたが、純粋にツアーを楽しむことができ、大変良かったです。内容もたっぷり詰まっていたので、大満足でした。通訳の腕を磨き、また参加したいです。ありがとうございました。お疲れさまでした!



ウクライデーの会場はパフォーマンスやワークショップを楽しむ市覧の笑顔にあふれていました。それが一瞬、静まり返ったのは、ウクライナ人歌手4人が故郷を思って民謡「キーウ」を歌った時でした。ウクライナでは1年以上、爆撃や戦闘が続いています。 豊鷹市に避難している人たちもこれほど避難が続くとは思わず、不安を抱いている人もいると聞きます。私たちにできることは、これからもウクライナのことを忘れず、寄り添っていくことだと思います。

___ 「ウクライナデー」に 3000人が来場

三鷹市内にはウクライナから戦禍を逃れた避難者が現在21世帯32人住んでいます。MISHOPでは2022年度、三鷹市や三鷹青年会議所などと共催で「ウクライナ特別企画事業」を連続開催してきました。 3月5日(日) 11-15時にはNPO法人日本ウクライナ友好協会KRAIANYと杏林学園の協力を得て、ウクライナの文化を体感する「ウクライナデー」を杏林大学三鷹キャンパス松田進勇記念アリーナで開催しました。市民ら約 2000人が訪れ、ウクライナの民族舞踊や民謡、民芸品、料理などに触れ、交流を深めました。

が色と黄色のウクライナの国旗の色に楽まった会場には、ウクライナの各地方を紹介するパネルコーナーのほか、節の 歳に模様を描く「プィーサンカ」と、おやり「モタンカ人 形」を手作りするワークショップコーナーが設けられ、親子連れなどでにぎわいました。 行列ができたのは伝統料理「ボルシチ」とチーズ入り揚げドーナツ「ポンチキ」を販売するコーナー。人形や織物、はちみつなどの物産を販売するコーナーにも人だかりができました。

大勢の観客を魅了したのが舞台で繰り広げられた歌と踊りです。MISHOP 理事長の松田 たけらまったが表示したのが舞台で繰り広げられた歌と踊りです。MISHOP 理事長の松田 たけらまったがはいる。本作している。本作している。本作の大きにかいて、華やかな民族衣装をまとった踊 です。かんぞくぶょう。かんさいでは、これでは、本作している。ないでは、ないしょう。 ない これでは、大きな拍手を送っていました。 最後 にウクライナ人の指導で希望者がダンスを輪になって踊りました。

実行委員長の入月裕樹さんは「クラヤヌイから市内でウクライナ文化を紹介するイベントを開催したいという話を聞き、交流の機会になると企画しました。たくさんの方に体験していただいて良かったです」と話していました。

There are 32 evacuees from Ukraine living in Mitaka City. Since 2022, MISHOP has been cosponsoring a series of special Ukrainian projects with Mitaka City and others. On March 5th (Sunday), with the cooperation of the Japan-Ukraine Friendship Association KRAIANY and Kyorin Gakuen, a "Ukraine Day" was held from 11 am to 3 pm at the Kyorin University Mitaka Campus Arena for introducing Ukrainian culture. Approximately 3,000 people, including citizens, visited the event and experienced Ukrainian folk dances, folk songs, folk crafts, and cuisine.













